
「ぐちゅぐちゅみーかーん」

大澤豊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「ぐちゅぐちゅみーかーん」

【Nコード】

N4747Y

【作者名】

大澤豊

【あらすじ】

もし、自分達が難しい病気だったら、何度もつらい思いをしていたら、というお話。

「手術、成功する気がしない」

俺は食べかけのミカンを見下ろす。ぐちゅぐちゅのそれはなんだかグロテスクだった。と、ゆきが俺のミカンを奪う。思いつきり頬張る。

咀嚼しながら俺を見る。

俺もゆきを見る。

「私も自信無い」

ミカンのすっぱい匂いと、くちやくちやというゆきの口から響く音が俺を興奮させる。

「俺も自信無いわ」

ふいにキョウがやって来て、ゆきからミカンを奪ってまた、頬張る。

「あたいもー」

可奈もミカンを奪い食べようとして、やめる。さすがに下のぐちゅぐちゅしたところはやめた方がいいだろう。仕方なくミカンの皮を「燃えるゴミ」箱に投げ、グシャツ。外れた。

無様な俺のミカン。

皮はゴミ箱の横にのびた。

俺達は今、あのミカンみたいなもんなのかも知れない。

俺が言つとゆきが、はあ？と眉を吊り上げ笑った。俺もちよつと笑う。

なんでよ、キョウが珍しく真面目な顔で俺を見た。可奈にいたっては聞いてないようだ。

「自信のない奴らに好き勝手食われてタライ回しにされて、ゴミ箱にすら入れてもらえなくて腐っていく。そんな存在だよ」

「ああ！」

突然キヨウが爆笑する。ゆきは伏し目がちに笑う。可奈は俯く。
「確かにー、俺らそっくりじゃん」

冗談じゃねえよ、俺は真顔になった。

もうこれ以上俺らで遊ぶんじゃねえ。

当然、俺らはミカンと違って感情がある。

俺らだって痛いんだよ、吐きそうなんだよ、つらいんだよ。
もう、

しんどいんだよ。

「でもみんな実験してるわけじゃないよ。いい医者だったじゃん」

可奈が俺を見た。「しょうがないよ、こちらが異常なんだもん」

「しょうがない」で片付くレベルじゃねえだろ、俺が言つとキヨウが、まあね、と空を見上げた。

と、今まで黙っていたゆきが突然叫んだ。「じゃあどうすんの」

「逃げる？そしたら、こちらはゴミ箱に行くだけだよ。ゴミ箱でもいい？私はやだよ」

ゆきの目が赤くなっていく。

「死ぬくらいなら、たらい回しにされてる方がいい」

俺はゆきの肩を掴んだ。

ゆきの華奢な体から軋むような音がした。今にも壊れそうなゆき。

入院服から覗くゴボウみたいに細くて白い腕には、じんましの様な注射の痕が点々と残っていた。

俺は吐きそうになった。

そして、吐いた。

泣きながら、鼻から、口から吐く。

もう、ぐちゅぐちゅなんだ、俺らは。

「まだ、腐ってない」

ゆきが言う。

にじんだゆきの顔はよく見えなかったけど、声が震えている。

「腐ってなかったじゃん」

可奈も声が震えている。

「傷んでただけなんだよね」

「まだ、食べれた」

キヨウも笑った。

「ぐちゅぐちゅだったけどな」

「ぐちゅぐちゅみーかーん」

俺は呟いた。

可奈がミカンの皮を花壇に置いた。

「生まれ変われよ」

俺が言うと、雲間から太陽が出てきて花壇を照らした、気がした。

（後書き）

恐ろしくて想像を絶する世界で、自分はそういう経験をした事がないから、だから書けた世界です。ごめんなさい。

世界中の闘病をしている方が、少しでもよくなりますように。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4747y/>

「ぐちゅぐちゅみーかーん」

2011年11月17日17時57分発行